

平成24年度 京都府立福知山高等学校 学校経営計画（計画段階）

平成24年4月10日版

学校経営方針（中期経営目標）	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>府民の期待に応える学校づくりの推進</p> <p>1 「知・徳・体」の調和の取れた生徒の育成</p> <p>2 「個を生かし、公に生きる」生徒の育成</p> <p>3 「学力の向上」と「希望進路の実現」の達成</p>	<p>(成果)</p> <p>1 1クラス減のなか、国公立大学の合格率（2.5人に1人）は文理科学科の設置以降、最高の実績となった。また、医学部医学科へ2名、私学の最難関（早稲田・慶応・上智）へ延べ17名が合格するなど輝かしい実績を収めることができた。</p> <p>2 平成23年度「学力向上フロンティア校」支援事業に係る各種取組を展開することにより、普通科生徒の表現力、思考力の向上を図ることができた。</p> <p>3 文理科学科の研究活動に、グループ研究を取り入れ、研究の深化やその手法において大きな成果を刻むことができた。</p> <p>4 生徒指導の一環として愛校心のある生徒の育成に取り組み、校歌を大きな声で歌う指導において、著しい成果を収めることができた。</p> <p>5 ボランティアバンク登録生徒数が過去最高となり、校内にボランティア活動に対する意識が定着してきている。</p> <p>6 今年度もOJTの充実に取り組み、その成果を様々な教育活動で確認できた。</p> <p>7 体系的な各種広報活動と中学校の御理解、御協力により、初めての入学生を迎える中学校が複数出るなど、生徒募集をさらに充実させることができた。</p> <p>(課題)</p> <p>1 自立学習の観点から課題提示について検討を加え、より効果的に生徒の学力向上に資する在り方を構築する。</p> <p>2 生徒1人1人に応じた学習指導を重視し、具体的支援を行うことにより、各生徒に歩み続ける力を育む。</p> <p>3 教科内でOJTをより推進し、本校が有する人的資源を最大限に活用し、安定した組織として成長を遂げる。</p> <p>4 2年生普通科第Ⅱ類（理数系）で実施した習熟度</p>	<p>1 学力の向上と希望進路の実現</p> <p>(1) 主体的な学習態度並びに思考力、判断力、表現力の育成に努め、自立学習を確立する。</p> <p>(2) 各教科で生徒の学習意欲を高める指導の工夫改善を積極的に進め、全ての生徒の希望進路を実現することを最大の目標とする。</p> <p>(3) 新学習指導要領の円滑な実施に向けた校内体制の整備に努める。</p> <p>2 新教育システムによる普通科の活性化と文理科学科の充実</p> <p>(1) 類・類型制度の発展的解消に伴う本校普通科の新教育システムの定着と進路意識の高揚に努め、普通科全体の活性化を図る。</p> <p>(2) 文理科学科の教育活動内容のさらなる充実を図り、それを生かした希望進路の実現に努める。また、文理科学科の取組を中学校や地域に積極的に広報し、その趣旨を理解した意欲的な生徒の入学に努める。</p> <p>3 豊かな心を育む教育の実現</p> <p>自他の敬愛の心と公共性や社会貢献の精神を育み、共生社会に必要な力を育成する。</p> <p>(1) 礼儀正しく、挨拶のできる生徒</p> <p>(2) 部活動に励み、規律ある生活ができる生徒</p> <p>(3) 愛校心のある生徒の育成を目指す。</p> <p>4 OJTの確立</p> <p>教職員の資質・能力の向上及び組織としての学校の教育力を高めるという観点から各分掌及び各教科でのOJTを確立させる。</p> <p>5 適正な学校運営と安心・安全な学校づくり</p> <p>全教職員が危機意識を持ち、日々の点検に努め、適正な学校運営にあたるとともに、危機管理体制を確立し、安心・安全な学校を作る。</p> <p>6 家庭・地域・関係機関との連携の強化</p> <p>積極的に家庭連絡・家庭訪問を行うなど、家庭との連携を密にし信頼関係を築く。また、中学校や地域等</p>

別学習に対する高い評価を新教育システムの成功につなげる。  
**5** お知らせメールやホームページを頻繁に活用し、生徒や学校の様子を発信する。

へ本校の教育活動を理解してもらうための取組を一層推進する。  
 さらに、関係機関との連携・協働により、一層の教育効果の向上に努める。

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題																
組織・運営	学校改革への参画意識を向上させ、各分掌・各教科の活性化を図る。	各分掌部長・教科主任を中心に縦のOJTを意識し、教職員の資質・能力を高めるとともに、学校改革への参画意識を強める。 [学校（運営）改革へ参画したと実感した割合] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79%～65%</td> <td>64%～55%</td> <td>54%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79%～65%	64%～55%	54%未満										
	A	B	C	D																
80%以上	79%～65%	64%～55%	54%未満																	
生徒個々の学力向上を図るためのシステムづくりを確立する。	普通科の習熟度別クラスや2年生Ⅱ類（理数）に設置した習熟度別講座の充実した学習指導を展開する。 [普通科の学習指導に対する満足度] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79%～65%</td> <td>64%～55%</td> <td>54%未満</td> </tr> </table> [Ⅱ類 数・英・理における学習指導に対する満足度] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>80%以上</td> <td>79%～65%</td> <td>64%～55%</td> <td>54%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	80%以上	79%～65%	64%～55%	54%未満	A	B	C	D	80%以上	79%～65%	64%～55%	54%未満			
A	B	C	D																	
80%以上	79%～65%	64%～55%	54%未満																	
A	B	C	D																	
80%以上	79%～65%	64%～55%	54%未満																	
教務部	生徒の学力の向上に資するために、授業の質の向上を図る。	・研究授業、公開授業により、授業の質の向上を図る。 [参加者延べ人数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>160名以上</td> <td>150名以上</td> <td>140名以上</td> <td>139名以下</td> </tr> </table> ・「わかる授業」、「伸ばす授業」の実践を促す。 [生徒満足度が5段階で4以上の教員数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>30名以上</td> <td>29～25名</td> <td>24～20名</td> <td>19名以</td> </tr> </table>	A	B	C	D	160名以上	150名以上	140名以上	139名以下	A	B	C	D	30名以上	29～25名	24～20名	19名以		
	A	B	C	D																
160名以上	150名以上	140名以上	139名以下																	
A	B	C	D																	
30名以上	29～25名	24～20名	19名以																	
基礎学力の定着や欠課時数過多	・成績不良による単位不認定者を出さない指導を行う。																			

<p>生徒に対する指導により、単位の不認定をなくす。</p>	<p style="text-align: center;">[単位不認定科目数]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0科目</td> <td style="text-align: center;">1科目</td> <td style="text-align: center;">2科目</td> <td style="text-align: center;">3科目以上</td> </tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・10%、15%指導により、20%超過による単位の不認定をなくす。</p> <p style="text-align: center;">[年度末の20%超過科目数]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0科目</td> <td style="text-align: center;">1科目</td> <td style="text-align: center;">2科目</td> <td style="text-align: center;">3科目以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0科目	1科目	2科目	3科目以上	A	B	C	D	0科目	1科目	2科目	3科目以上			
A	B	C	D																	
0科目	1科目	2科目	3科目以上																	
A	B	C	D																	
0科目	1科目	2科目	3科目以上																	
<p><b>生徒指導部</b></p> <p>学校生活の安定が進路実現につながるという観点に立ち、規範意識の向上を図る。</p>	<p>・服装、登校時間、そして交通安全に関する規範意識を高める。</p> <p style="text-align: center;">[生徒指導部長注意以上の年間生徒指導件数]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5件未満</td> <td style="text-align: center;">5～10件</td> <td style="text-align: center;">11～15件</td> <td style="text-align: center;">16件以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	5件未満	5～10件	11～15件	16件以上											
A	B	C	D																	
5件未満	5～10件	11～15件	16件以上																	
<p>「知・徳・体」の調和の取れた人格の育成に努める。</p>	<p>・生徒一人ひとりの豊かな高校生活を実現するため、部活動の加入率を上昇させる。</p> <p style="text-align: center;">[新入生部活動加入率]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90%以上</td> <td style="text-align: center;">89～80%</td> <td style="text-align: center;">79～70%</td> <td style="text-align: center;">69%以下</td> </tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・生徒の社会性を育み、自己の生き方について考える機会を与えるため、ボランティア活動をさらに活性化する。</p> <p style="text-align: center;">[年間3回以上ボランティア活動に参加した生徒数]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">50人以上</td> <td style="text-align: center;">49～40人</td> <td style="text-align: center;">39～30人</td> <td style="text-align: center;">29人以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～70%	69%以下	A	B	C	D	50人以上	49～40人	39～30人	29人以下			
A	B	C	D																	
90%以上	89～80%	79～70%	69%以下																	
A	B	C	D																	
50人以上	49～40人	39～30人	29人以下																	
<p><b>進路指導部</b></p> <p>1、2年生の講習、進路学習を充実させることで、進路に対する意識を向上させ、学習意欲を喚起する。</p>	<p>・進学講習を推進し、また、進路HRなどでの進路学習の内容を改善していくことで、受験に対応できる学力と意識を高める。</p> <p>[1、2年生7月進研記述模試と1月進研記述模試との3科目平均偏差値の差]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.5以上</td> <td style="text-align: center;">1.0～1.4</td> <td style="text-align: center;">0.5～0.9</td> <td style="text-align: center;">0.4以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	1.5以上	1.0～1.4	0.5～0.9	0.4以下											
A	B	C	D																	
1.5以上	1.0～1.4	0.5～0.9	0.4以下																	

	<p>3年生の進路希望に応じた指導を行い、目的達成のための支援を行う。</p>	<p>・センター試験対策演習や「にじゼミ」を充実させ、受験に対応した学力を向上させる。 [国公立大学延べ合格者数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>100名以上</td> <td>99～80名</td> <td>79～60名</td> <td>59名以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	100名以上	99～80名	79～60名	59名以下											
A	B	C	D																		
100名以上	99～80名	79～60名	59名以下																		
保健部	<p>健やかな学校生活を送るために、生徒に自らの健康に対する意識の向上を図る。</p>	<p>・生徒の実態に即した、時事的な情報の提供を行なう。 [「ほけんだより」の発行回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>16回</td> <td>15回</td> <td>14回</td> <td>13回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	16回	15回	14回	13回以下											
	A	B	C	D																	
16回	15回	14回	13回以下																		
	<p>危機管理意識を持ち、安心安全な学校づくりに努める。</p>	<p>・危険防止の観点から校舎内外の安全点検を実施し、事故等を未然に防ぐ方を継続的に実施する。 [安全点検の実施回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>5回以上</td> <td>4回</td> <td>3回</td> <td>2回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	5回以上	4回	3回	2回以下											
A	B	C	D																		
5回以上	4回	3回	2回以下																		
総務企画部	<p>学力向上フロンティア校支援事業に係る取組、並びにキャリア教育を計画的に実施するとともに、自立学習を通して着実な学力向上と進路意識の高揚に努めることができる生徒を育成する。</p>	<p>・事業計画書に基づき、取組を具体化することにより、学力向上に努める [模試や実力テストの平均偏差値の伸び率(ポイント)]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0.7以上</td> <td>0.7～0.6</td> <td>0.6～0.5</td> <td>0.5以下</td> </tr> </table> <p>・キャリア教育やみらい学、みらい考の取組を通して、生徒の進路に対する意識の高揚を図る。 [2年生終了時における進路希望先決定率]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>96%以上</td> <td>95～91%</td> <td>90～81%</td> <td>80%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0.7以上	0.7～0.6	0.6～0.5	0.5以下	A	B	C	D	96%以上	95～91%	90～81%	80%未満			
	A	B	C	D																	
0.7以上	0.7～0.6	0.6～0.5	0.5以下																		
A	B	C	D																		
96%以上	95～91%	90～81%	80%未満																		
	<p>各分掌や学力向上フロンティア推進委員との連携を強化し、取組の円滑な運営に努めると共に、外部発信を積極的に行い生徒募集を強化する。</p>	<p>・分掌会議並びに各分掌との会議を定期的に行い共通理解と組織的な運営を図ると共に、OJTの充実に寄与する。 [各分掌、分掌内の連携会議]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>11点以上</td> <td>10～8点</td> <td>7～4点</td> <td>3点以下</td> </tr> </table> <p>・福高だより等を外部発信の手段として、生徒の生き生き</p>	A	B	C	D	11点以上	10～8点	7～4点	3点以下											
A	B	C	D																		
11点以上	10～8点	7～4点	3点以下																		

		<p>とした活動を積極的に発信する。</p> <p>[生徒作文やインタビュー等の年間紹介数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>36回以上</td> <td>35～26回</td> <td>25～16回</td> <td>15回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	36回以上	35～26回	25～16回	15回以下											
A	B	C	D																		
36回以上	35～26回	25～16回	15回以下																		
人権教育部	<p>様々な人権問題についての正しい理解や認識を深め、人権尊重の実践的態度を養う。</p>	<p>・学年部や他分掌との連携を深め、人権学習の教材や指導方法の改善に努める。</p> <p>[学校評価アンケート（生徒）プラス評価向上]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>5ポイント以上</td> <td>3～4ポイント</td> <td>0～2ポイント</td> <td>0ポイント以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	5ポイント以上	3～4ポイント	0～2ポイント	0ポイント以下											
A	B	C	D																		
5ポイント以上	3～4ポイント	0～2ポイント	0ポイント以下																		
	<p>各種援護制度の周知と活用を図り、就修学の保障に努める。</p>	<p>・援護制度について、広報や説明会を充実させる。</p> <p>[お知らせメール及びホームページの活用]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>10回以上</td> <td>9～7回</td> <td>6～5回</td> <td>4回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	10回以上	9～7回	6～5回	4回以下											
A	B	C	D																		
10回以上	9～7回	6～5回	4回以下																		
	<p>教職員の人権意識の高揚を図り、指導力の向上に努める。</p>	<p>・教職員研修を充実し、教職員の指導力の向上を図る。</p> <p>[教職員研修の実施]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>0回</td> </tr> </table> <p>[人権教育推進会議及び合同部会の実施]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>10回以上</td> <td>9～7回</td> <td>6～4回</td> <td>3回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	3回	2回	1回	0回	A	B	C	D	10回以上	9～7回	6～4回	3回以下			
A	B	C	D																		
3回	2回	1回	0回																		
A	B	C	D																		
10回以上	9～7回	6～4回	3回以下																		
文理科学科推進部	<p>文理科学科の教育活動内容を検証し、さらなる充実を図る。</p>	<p>二年目を迎える「みらい学Ⅱ」のグループ研究の充実、深化に努める。</p> <p>[みらい学研究発表会参観者数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>61～80人</td> <td>41～60人</td> <td>21～40人</td> <td>20～0人</td> </tr> </table>	A	B	C	D	61～80人	41～60人	21～40人	20～0人											
A	B	C	D																		
61～80人	41～60人	21～40人	20～0人																		
	<p>文理科学科の海外研修旅行の充実を図る。</p>	<p>初めて実施するマレーシア・シンガポール研修旅行を成功させる。</p> <p>[研修旅行満足度]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～70%</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～70%	70%未満											
A	B	C	D																		
90%以上	89～80%	79～70%	70%未満																		

図書視聴覚部	読書活動を推進し、知識に裏付けられた判断力・豊かな表現力・感性を磨く力を育成する。	・みらい考、みらい学、教科学習と連携し、授業で図書館を活用する機会を増やす。 [テーマまたは講座数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>21以上</td> <td>20～16</td> <td>15～11</td> <td>10以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	21以上	20～16	15～11	10以下											
	A	B	C	D																	
21以上	20～16	15～11	10以下																		
	保護者、地域、中学生から信頼される広報活動に取り組む。	・ホームページおよびお知らせメールによる情報発信を継続的かつ安定的なものとする。 [学期中の1週間に発信が0回の週の計] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1～10</td> <td>11～20</td> <td>21以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0	1～10	11～20	21以上											
A	B	C	D																		
0	1～10	11～20	21以上																		
事務部	安心・安全な教育環境を保持する。	定期的な安全点検を実施し、危険と予測される箇所を早期発見・早期改修を図る。 [危険と予測される箇所に対する改修率] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～80%</td> <td>79～70%</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～80%	79～70%	70%未満											
	A	B	C	D																	
90%以上	89～80%	79～70%	70%未満																		
	効率的な予算執行を行うことにより、適正な学校運営を行う。	最小の経費で最大の効果を発揮できる教科・分掌の予算執行を行う。 [教科・分掌の予算執行満足度] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～70%</td> <td>69～50%</td> <td>50%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～70%	69～50%	50%未満											
A	B	C	D																		
90%以上	89～70%	69～50%	50%未満																		
第1学年部	生活と学習における基礎基本の徹底を図る。	・「日々の演習」を通じて、家庭学習習慣の確立と基礎学力の定着を図る。 [「日々の演習」の年間提出率] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>91%以上</td> <td>90～86%</td> <td>85～80%</td> <td>80%未満</td> </tr> </table> ・挨拶や頭髪服装、遅刻防止等に向けた指導を徹底する。 [年間遅刻指導延べ人数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>1～3人</td> <td>4、5人</td> <td>6人以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	91%以上	90～86%	85～80%	80%未満	A	B	C	D	0人	1～3人	4、5人	6人以上			
	A	B	C	D																	
91%以上	90～86%	85～80%	80%未満																		
A	B	C	D																		
0人	1～3人	4、5人	6人以上																		
	豊かな人間性の育成に努める。	・部活動の加入とボランティア活動への積極的な参加を促す。																			

		<p style="text-align: center;">[部活動加入率]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>90%以上</td><td>89～85%</td><td>84～80%</td><td>80%未満</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">[ボランティアへの年間延べ参加人数]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>90人以上</td><td>89～80人</td><td>79～70人</td><td>69人以下</td></tr> </table> <p>・クラス及び学年の委員会活動を活用し、生徒自らが積極的に参画できる学校行事やホームルーム活動の運営をする。</p> <p style="text-align: center;">[福高祭に対する満足度]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>95%以上</td><td>94～90%</td><td>89～85%</td><td>85%未満</td></tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89～85%	84～80%	80%未満	A	B	C	D	90人以上	89～80人	79～70人	69人以下	A	B	C	D	95%以上	94～90%	89～85%	85%未満			
A	B	C	D																										
90%以上	89～85%	84～80%	80%未満																										
A	B	C	D																										
90人以上	89～80人	79～70人	69人以下																										
A	B	C	D																										
95%以上	94～90%	89～85%	85%未満																										
	自己の生き方や進路意識の喚起を図る。	<p>・面談を積極的に行い、「みらい考」・「みらい学」を活用して進路意識を喚起する。</p> <p style="text-align: center;">[年間面談回数]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>6回以上</td><td>5回</td><td>4回</td><td>3回以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	6回以上	5回	4回	3回以下																			
A	B	C	D																										
6回以上	5回	4回	3回以下																										
<b>第2学年部</b>	自ら課題を見つけ克服していく自律的な生き方を展望し、学習習慣や生活を整える力の育成	<p>始業時間の厳守・身だしなみ・挨拶やマナー・清掃の徹底について、学年全体で粘り強く指導を行う。</p> <p style="text-align: center;">[年間遅刻指導対象者数]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>0人</td><td>1～2人</td><td>3～4人</td><td>5人</td></tr> </table> <p>学校行事や研修旅行において、主体的に取り組むことで、達成感を得られるより良い取組となるよう支援する。</p> <p style="text-align: center;">[研修旅行事後アンケートの満足度]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>95%</td><td>94～90%</td><td>80%以上</td><td>80%未満</td></tr> </table>	A	B	C	D	0人	1～2人	3～4人	5人	A	B	C	D	95%	94～90%	80%以上	80%未満											
A	B	C	D																										
0人	1～2人	3～4人	5人																										
A	B	C	D																										
95%	94～90%	80%以上	80%未満																										
	希望進路の実現を目指し、探求する態度の育成	<p>具体的な進路目標を明確にさせるため、関係分掌との連携を深め、情報の収集や学習を保障する。</p> <p style="text-align: center;">[学年末における進路先未定者数]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>0人</td><td>1人</td><td>2～5人</td><td>6人以上</td></tr> </table>	A	B	C	D	0人	1人	2～5人	6人以上																			
A	B	C	D																										
0人	1人	2～5人	6人以上																										

<p>第3学年部</p>	<p>生徒の希望進路の実現を図る。</p>	<p>すべての生徒が希望進路を実現することができるよう、面談を重視し、教科・分掌、また部活動顧問と連携してきめ細かな指導を行う。</p> <p>[年間面談回数]</p> <table border="1" data-bbox="826 320 1473 389"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>8回以上</td> <td>6、7回</td> <td>4、5回</td> <td>3回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	8回以上	6、7回	4、5回	3回以下											
A	B	C	D																		
8回以上	6、7回	4、5回	3回以下																		
	<p>最高学年・最終学年としての自覚を持たせる。</p>	<p>学校行事等の諸活動においてリーダーシップを発揮し、集団の中心となって力を尽くすことのできる人間性を育てる。</p> <p>[学校祭アンケートの満足度]</p> <table border="1" data-bbox="826 560 1473 628"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>95%以上</td> <td>94~90%</td> <td>89~80%</td> <td>80%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	95%以上	94~90%	89~80%	80%未満											
A	B	C	D																		
95%以上	94~90%	89~80%	80%未満																		
<p>国語科</p>	<p>生徒の知的好奇心を促し、思考力、表現力を高める指導を行い、自主的に学ぶことのできる生徒を育てる。</p>	<p>・1年次においては、課題や確認テスト等を積極的に行い、基礎学力の定着を図るとともに、読書指導を充実させる。</p> <p>・2年次以降については、様々な文章に触れて要約させたり、意見を書かせたりすることで、思考力、表現力を高める。</p> <p>[1・2年進研記述模試の7月から1月にかけての国語偏差値の上昇値]</p> <table border="1" data-bbox="896 906 1467 975"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>2以上</td> <td>1.0~1.9</td> <td>0.0~0.9</td> <td>0.0未満</td> </tr> </table> <p>-----</p> <p>・日本漢字能力検定の受検を奨励する。</p> <p>[準2級以上の1回あたりの受検者数]</p> <table border="1" data-bbox="896 1078 1467 1147"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>40人以上</td> <td>39~35人</td> <td>34~30人</td> <td>29人以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	2以上	1.0~1.9	0.0~0.9	0.0未満	A	B	C	D	40人以上	39~35人	34~30人	29人以下			
A	B	C	D																		
2以上	1.0~1.9	0.0~0.9	0.0未満																		
A	B	C	D																		
40人以上	39~35人	34~30人	29人以下																		
	<p>生徒の学習意欲を高めることのできる授業を目指し、教科内でのOJTの機会を増やして指導の工夫と改善に努める。</p>	<p>・教科内での研修活動や研究授業を積極的に行う。また、各教員の持つ知識や情報の共有を図る。</p> <p>[校内研修実施回数]</p> <table border="1" data-bbox="896 1286 1467 1355"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>7回以上</td> <td>6、5回</td> <td>4、3回</td> <td>2回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	7回以上	6、5回	4、3回	2回以下											
A	B	C	D																		
7回以上	6、5回	4、3回	2回以下																		



地歴公民科	生徒の主体的な学習態度の育成に努め、自立学習を確立させる。	生徒の自主的な学習に繋がる課題を提示する。 〔週末課題実施回数〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>10回以上</td> <td>7～9回</td> <td>4～6回</td> <td>0～3回</td> </tr> </table>	A	B	C	D	10回以上	7～9回	4～6回	0～3回			
	A	B	C	D									
10回以上	7～9回	4～6回	0～3回										
	生徒の学習意欲を高める指導の工夫改善を積極的に進め、指導力の向上に努める。	地歴公民科教員の授業力アップに向けて、公開・研究授業を積極的に実施する。 〔公開・研究授業実施数〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>10回以上</td> <td>7～9回</td> <td>5～6回</td> <td>4回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	10回以上	7～9回	5～6回	4回以下			
A	B	C	D										
10回以上	7～9回	5～6回	4回以下										
数学科	主体的な態度で学習に励む生徒を育成する。	授業を大切にする学習を推し進め、家庭学習指導等を通じて学習習慣と基礎学力の定着を図るとともに、主体的・積極的な数学活動の育成を図る。 〔1年生日々の演習の数学の提出率〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>96%以上</td> <td>91～95%</td> <td>86～90%</td> <td>85%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	96%以上	91～95%	86～90%	85%以下			
	A	B	C	D									
	96%以上	91～95%	86～90%	85%以下									
多様な希望進路に対応できる学力を養成する。	<1年生> 効果的な学習方法を指導し、基礎学力を徹底させる。 〔第2回府立高校実力テスト数学B60点以上〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>151人以上</td> <td>126～150人</td> <td>101～125人</td> <td>100人以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	151人以上	126～150人	101～125人	100人以下				
	A	B	C	D									
	151人以上	126～150人	101～125人	100人以下									
<2年生> 課題を計画的に提示することで、自立学習の確立を図る。 〔第2回府立高校実力テスト数学B60点以上〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>131人以上</td> <td>121～130人</td> <td>111～120人</td> <td>110人以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	131人以上	121～130人	111～120人	110人以下					
A	B	C	D										
131人以上	121～130人	111～120人	110人以下										
<3年生> センター試験対策演習やにじゼミ等によって、進路実現に必要な学力を充実させる。 〔大学入試センター試験数学I A対全国平均〕 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>11点以上</td> <td>6～10点</td> <td>1～5点</td> <td>平均点以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	11点以上	6～10点	1～5点	平均点以下					
A	B	C	D										
11点以上	6～10点	1～5点	平均点以下										

	<p>学習意欲を高める指導の工夫改善を推進する。</p>	<p>活発で効果的な教科指導が行えるように定期的な教科会議や校内研修を開催し、教科内の意思統一を図る。</p> <p>[校内研修を含む教科会議の実施回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>35回以上</td> <td>33、34回</td> <td>31、32回</td> <td>30回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	35回以上	33、34回	31、32回	30回以下			
A	B	C	D										
35回以上	33、34回	31、32回	30回以下										
理科	<p>授業評価・授業改善を積極的に行い、分かりやすく興味を持つ授業を展開する。</p>	<p>効果的な場面で実験・実習を積極的に行うとともに、視聴覚教材や情報コンテンツ等を有効に活用した授業展開の工夫に努める。</p> <p>[演示や実験、実習等の実施平均回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>40回以上</td> <td>31～39回</td> <td>21～30回</td> <td>20回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	40回以上	31～39回	21～30回	20回以下			
	A	B	C	D									
	40回以上	31～39回	21～30回	20回以下									
<p>希望進路の実現に向け、確実な学力の定着と国公立2次試験に対応できる思考力を育成する。</p>	<p>・基礎学力の確実な定着（2年）と、希望進路の実現に必要なとなる学力の育成（3年）に努める。</p> <p>[センター試験の対全国平均点]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>11点以上</td> <td>10～8点</td> <td>7～4点</td> <td>3点以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	11点以上	10～8点	7～4点	3点以下				
A	B	C	D										
11点以上	10～8点	7～4点	3点以下										
	<p>小教科の枠を超えて、指導内容や指導方法の研究・交流を積極的に推進する。</p>	<p>・授業研究、公開授業、模擬試験分析を定期的実施し、指導力の向上を図る。</p> <p>[公開授業、研究授業の実施回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>11回以上</td> <td>10～8回</td> <td>7、6回</td> <td>5回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	11回以上	10～8回	7、6回	5回以下			
A	B	C	D										
11回以上	10～8回	7、6回	5回以下										
保健体育科	<p>基本技能を習得し、体力の向上を図る。</p>	<p>各種目において基本的な技能の習得とともに、体づくり運動に取り組むことで、体力の向上を図る。</p> <p>[スポーツテストにおけるD、E判定者の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>5%未満</td> <td>5～6%</td> <td>7～10%</td> <td>11%以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	5%未満	5～6%	7～10%	11%以上			
	A	B	C	D									
5%未満	5～6%	7～10%	11%以上										
	<p>生涯を通じて、運動を継続的に実践できる能力を養う。</p>	<p>3年次の選択制体育において、計画的・継続的に運動を実践する姿勢を育てる。</p>											

		[3年次の授業評価]																											
		<table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>4.5以上</td><td>4.4~4.2</td><td>4.1~4.0</td><td>4.0未満</td></tr> </table>	A	B	C	D	4.5以上	4.4~4.2	4.1~4.0	4.0未満																			
A	B	C	D																										
4.5以上	4.4~4.2	4.1~4.0	4.0未満																										
	健康・安全に関する事柄に興味・関心を持ち、科学的に思考・判断し、総合的にとらえる能力を養う。	保健の課題学習において、生徒の興味・関心を引き出し、科学的に思考・判断する姿勢を育てる。 [2学期保健（課題学習）の授業評価]	<table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>4.5以上</td><td>4.4~4.3</td><td>4.2~4.0</td><td>4.0未満</td></tr> </table>	A	B	C	D	4.5以上	4.4~4.3	4.2~4.0	4.0未満																		
A	B	C	D																										
4.5以上	4.4~4.3	4.2~4.0	4.0未満																										
	運動部活動の活性化を図る。	日常的な指導（勧誘）により、加入率を上昇させる。 [運動部加入率（%）]	<table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>50以上</td><td>49~45</td><td>44~40</td><td>40未満</td></tr> </table>	A	B	C	D	50以上	49~45	44~40	40未満																		
A	B	C	D																										
50以上	49~45	44~40	40未満																										
<b>芸術科</b>	<p>芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深めることにより、豊かな情操を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽 楽器の基礎奏法指導に重点をおく。</li> <li>・美術</li> <li>・書道 総合的な書道について理解を深め、手書き文化としてことばを書くことを重視する。</li> </ul>	<p>・生徒の表現能力を高め課題に意欲的に取り組むために校内・校外における発表・展示を行う。</p> <p style="text-align: right;">[展示発表回数]</p> <p>&lt;音楽&gt;</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>5回</td><td>4回</td><td>3回</td><td>2回</td></tr> </table> <p>&lt;美術&gt;</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>5回</td><td>4回</td><td>3回</td><td>2回</td></tr> </table> <p>&lt;書道&gt;</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>5回</td><td>4回</td><td>3回</td><td>2回</td></tr> </table>	A	B	C	D	5回	4回	3回	2回	A	B	C	D	5回	4回	3回	2回	A	B	C	D	5回	4回	3回	2回			
A	B	C	D																										
5回	4回	3回	2回																										
A	B	C	D																										
5回	4回	3回	2回																										
A	B	C	D																										
5回	4回	3回	2回																										
<b>英語科</b>	多様かつハイレベルな進路希望に対応できる基礎から応用までの幅広い学力を養成する。	<p>・家庭学習指導の徹底、課題への取組、模試の復習を通じて学力の向上を図る。</p> <p style="text-align: center;">[3年生センター試験平均の対全国平均値]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>41点以上</td><td>40~31点</td><td>30~21点</td><td>20点以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	41点以上	40~31点	30~21点	20点以下																			
A	B	C	D																										
41点以上	40~31点	30~21点	20点以下																										
	実践的な言語能力の獲得に励む	・英語技能検定の受検を奨励し、合格に向けた助言や支援																											

	生徒を育成する。	を行う。 [英語技能検定2級・準2級の合格率] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>71%以上</td> <td>70～56%</td> <td>55～41%</td> <td>40%以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	71%以上	70～56%	55～41%	40%以下			
A	B	C	D										
71%以上	70～56%	55～41%	40%以下										
家庭科	生徒の学習意欲を高める指導の工夫改善を積極的に進め、生活自立できる生徒を育てる。	・体験・実習・視聴覚教材等を効果的に取り入れ、生活力向上につなげる。 [1クラスにおける実習・視聴覚教材利用回数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>14回以上</td> <td>13回</td> <td>12回</td> <td>11回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	14回以上	13回	12回	11回以下			
	A	B	C	D									
14回以上	13回	12回	11回以下										
	衛生面・安全面に配慮した学習環境作りに努める。	・定期的に調理室の安全点検、整備を行う。 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>11回以上</td> <td>10回</td> <td>9回</td> <td>8回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	11回以上	10回	9回	8回以下			
A	B	C	D										
11回以上	10回	9回	8回以下										

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に 向けた改善の 方向性	
-----------------------	--